

雨となかよくくらすために「家でできること」

生き物と暮らすわが家での雨水タンクの利用

我が家では、子どもたちと、様々な生き物を飼っています。

「インコ」「亀」「陸ヤドカリ」「ザリガニ」「メダカ」「熱帯魚」「イモリ」「金魚」「カブトムシ」「淡水エビ」
これらの中で、「亀」「ザリガニ」「メダカ」「熱帯魚」「イモリ」「金魚」「淡水エビ」

は、水ととても密接に生きています。

そのため、「水替え」はかなり重要！水道水は消毒のカルキ抜きが、なかなか手間なのですが、雨水を活用することで手間が大幅に減ります。また言うまでもなく、雨水には、余計なものが入っていないので、安心して使えます。



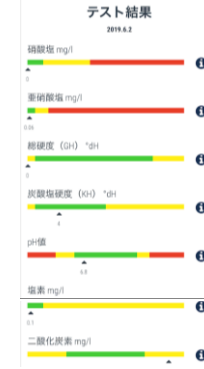
二階ベランダメダカ池

タンク近くに池を設置することで、水替え、水足しが容易に。また夏場の高温時には、少量を流すことで温度維持にも役立っています。



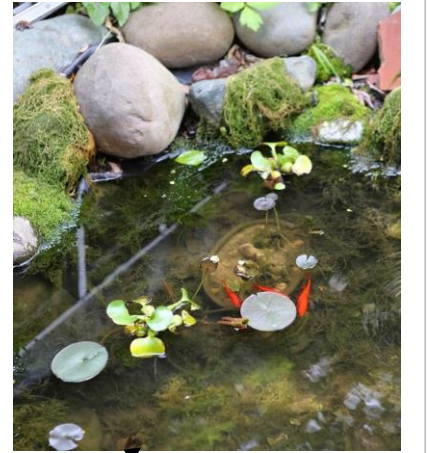
室内熱帯魚水槽

雨水はカルキ抜きの必要がなく、また念のために毎回試薬でチェックしますが、魚に危険な物質も入っていないので安心してつかっています。

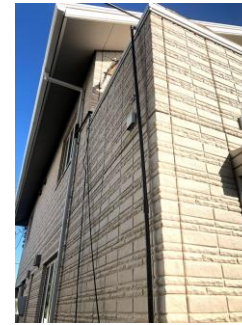


庭ビオトープ

池(ビオトープ)の水を変えたり、水を足す作業も、雨水だったら安心して行えます。



二階ベランダに設置。250リットル二台。



二階からの落差を利用して、電気など使用せずに、水が庭や亀池に流れるようになっています。



タンク内部は、水の流れを調整することで、うまく庭の亀池に水がいくようにしてあります。

我が家での人間含む生き物と雨水タンクの利用

- ① 亀小屋の水替え (大量の水替えも雨とともに自動で！)
- ② 水質に敏感な熱帯魚も (水質も楽々クリア)



亀の池は、すぐに水が汚くなりますが、雨が降るたびに流れ込み、自動で綺麗になるので、手間が大幅減に！

野外に「亀小屋」を作り亀を飼育していますが、水替えがなかなか手間。そこで、雨水タンクからあふれた水が、直接亀池に流れ込むようにすることで、雨が降ると自動的に亀の飼育池がきれいになる仕組みを作りました。雨のたびにほぼ池がきれいになるので、ボウフラがわくのも防いでいます。



定期的な水替えが必要な熱帯魚にとっても、雨水タンクを使えるのは、とても便利です！メダカ池でも活用！

メダカや熱帯魚、庭のビオトープの水替えは、亀と異なり自動で一気に入水替えとはいかないが、雨水を利用することで、カルキ抜きやPHのコントロールは水道水を使うほど神経質にならないでよい。また試薬で確認をしても、きわめてきれいな水なため、安心して使っています。

- ③ 庭の植物も生き生き！ (水道代気にせず！)



夏場の水やりは子供たちが楽しんでやっています！途中から水遊びに変わることたびたび！

夏場の庭の植物への散水にも、雨水タンクは水道代を気にせず活用できる。関連性は不明ですが、水道水をやめ雨水タンクからの散水に変えたところ、祖父の代からのみかんの木がとても生き生きだして、実が満載！思いつき散水できたからかもかもしれません。

- ④ 非常時には人間だって！ (災害に備えて)



非常用の浄水キットと、運搬用の袋をワンセットにして、雨水タンクの近くに常備しています。

断水時に、飲料水の確保のために給水所などに行くのはかなりの重労働。特に高齢化が進んでいる中、水の運搬は被災者にとって相当の負担になる。その点、雨水タンクがあれば簡易的な浄水装置を使うことで飲料水の確保が可能。被災時の安心のためにもいいです。

亀小屋の水替え

推定年齢30数歳の亀が住んでいる手作りの小屋に雨水タンクからオーバーフローした水がすべて投げ入れこむようにしました。これで水替えの手間が大幅に減りました！



みかんなどの植物

夏場の植物への水やりが、ほぼ水道代を気にせずできるのは、かなりのメリット！夏場にしっかり水やりができたおかげか、みかんもとても元気になりました！



非常時には人間も！

非常時に、給水所まで水を取りに行く手間を減らすことを考えて、浄水装置を常備して、いざというときに備えています。念のために浄水器で飲みましたが、おいしかった！



非常用浄水キットを雨水タンクの近くに常備しています

タンク・配管の設置や亀小屋の作成などは子供たちと

生き物に触れあってもらいたい、また自然資源である「雨」の活用を子どもたちに身をもって実感してもらいたいため、タンクや配管の設置、また亀小屋の作成などは、現在10歳の娘と、6歳の息子と一緒にやりました。子供にとって雨が降ることは、外に遊びに行けないというネガティブな感情がわくことが多いかとおもいますが、我が家では雨が降ると「生き物の水がたまる」というポジティブな感覚がわくようになりました！